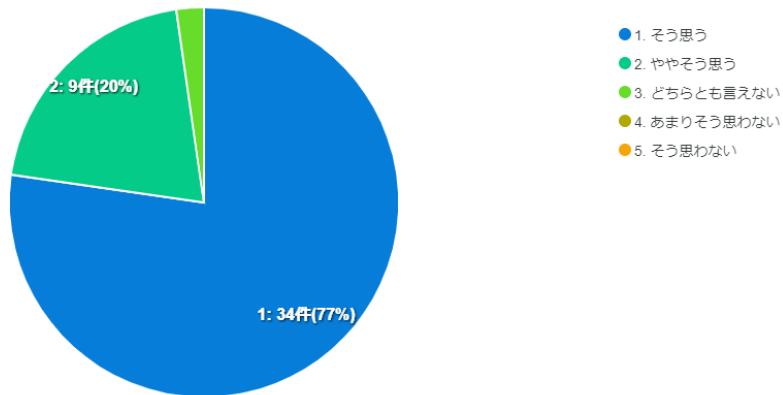
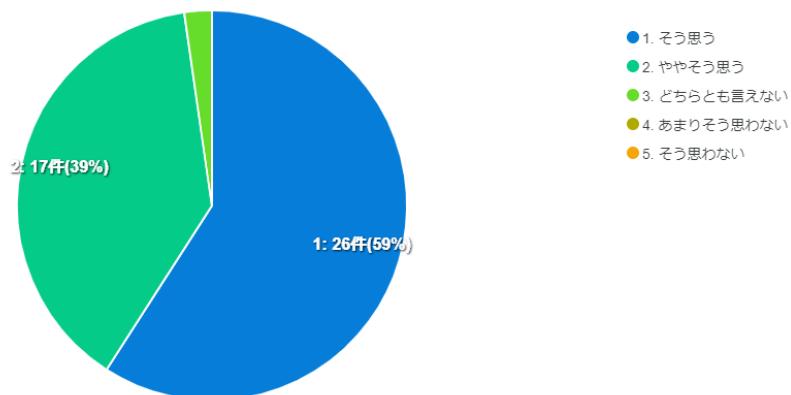


◆避難所設営訓練・宿泊訓練について（一般参加者対象）

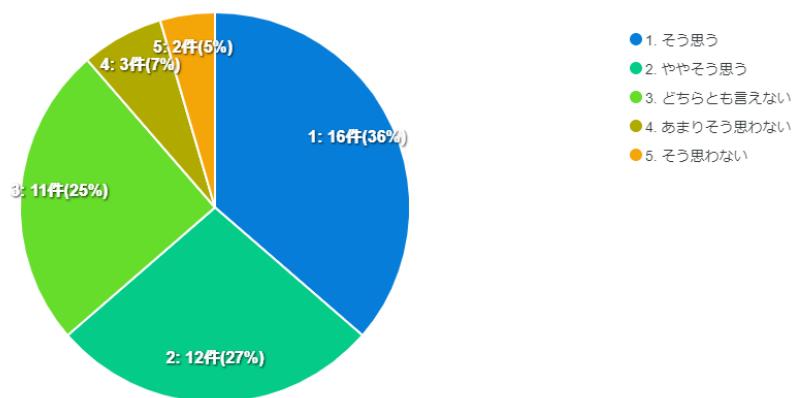
★実際の避難所の設営や運営を体験し、設営のイメージが深まった



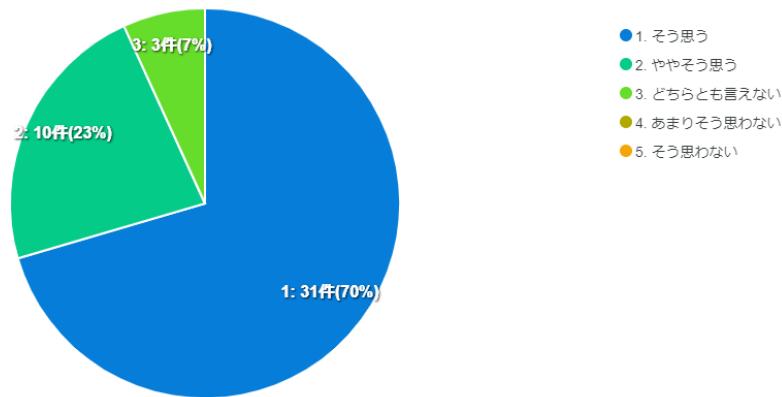
★断水や停電などの被災時を想像することができた



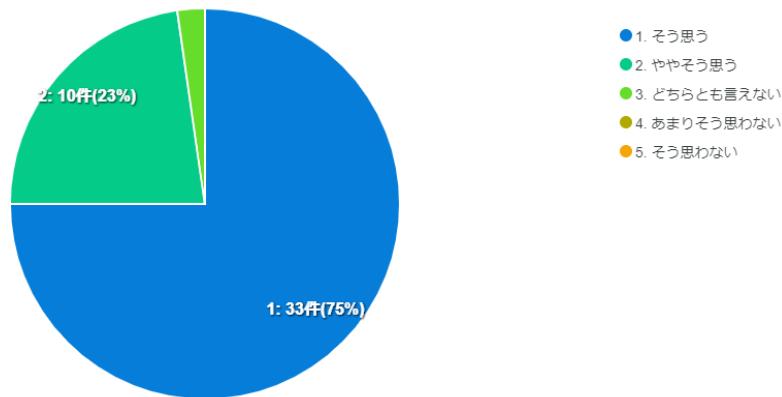
★災害時には家の安全が確保できる限り避難所には來たくないと思った



★災害時には避難所の運営に積極的に協力したいと思う



★家庭の備蓄や非常持ち出し品について見直そうと思った



◆避難所設営訓練・宿泊訓練について良かった点、改善してほしい点 (一般参加者、市職員、他自治体職員対象)

<パーティションの配置について>

- テント同士をくっつけずに、一定の距離感が欲しかったです。
- パーテーションの間隔の狭さ(ゼロ距離ではなく最低でも30cmくらい話したほうが良い)
- 賑やかな子どもたちに 3 方囲まれたら、、、と思うと、ストレスは半端無いと思いました。
例えば、ご家族は奥からつめてもらい、単身者や子どもの居ない世帯は手前からつめる。
という形で入ってもらうのはいかがでしょうか。
- 子ども達がとても元気にはしゃいでいて、隣の単身避難者や高齢の避難者にとって

は、しんどかったのではと思います。

- パーテーションの区画が狭かったからなのか、足音やパーテーションのファスナーを開ける音などが割とクリアに聞こえた。
- 隣のパーテーション(東西南北)のベッドの位置によっては、イビキが聞こえやすいとかあったかもしれません

<訓練について>

- 色んな世代の方が参加されていた。我が家では子どもに訓練について話したが、はしゃいでいた時もあり、それをみて年配の方は楽しいなあ、明るくなるなあと言ってくださったのは、人によっては違うだろうけど嬉しかった。
- ダンボールベッド、パーテーション、寒さ、音、トイレなどどうなってどう対処されるのか体験してイメージができた。体験しないとイメージしにくい。
- パーティションや段ボールベッドの組み立て方を知ることができた。停電や断水の不便さや、避難の大変さを知ることができた。
- 実際に体験できて良かったです。スタッフの皆さんが親切でした。
- 実際を想定した状況づくりが、より具体的な避難イメージを与えられ、効果的であったと思います。
- 自分の住んでいる住居とのギャップを実体験できたことで、備えなければならぬ物品が分かりました。
実際に宿泊する機会はそうそうないので、体験てきて本当に良かったです。
- 実際に体育館で機材を配布し、設営してみることで想定される問題も感じられました。今回は参加人数によって区分されていたにも関わらず、うまくパーテーションが収まらないところもありました。しかし市民さんがお互いに協力し合いながら設営されている場面もあり、避難して来られる方々の主体的な参加が大切だと感じました。
- 避難所の設営については、避難所担当職員として大変意義のあるものであったように思う。
- 日帰りコースだったのであまりかかわることができなかった。
- 宿泊訓練は大変で、選びづらかったです。
- トイレやパーティション、段ボールベッドなど、普段の生活ではなかなか関わることのない設備に触れることができ、貴重な経験になりました。
- 避難所運営訓練・宿泊訓練ともに実際の体験ができたので、今後の避難所運営に活かすことができると感じた。
- 市民の防災意識を高め、住民主体の避難所の運営につなげていくための施策の取組として参考とするため
- 避難所に宿泊するにあたって自分が何が気になるのか、何をストレスとして感じるのか。それを実感として理解できることで、事前に何を準備するべきか具体的に考える

事が可能になりました。

- 段ボールベッドやパーテーション等を実際にさわって設営できる貴重な体験
- パーテーションの組み立て方法が案外簡単で安心できた。
段ボールベッドでも十分に睡眠をとることができた。
避難所なのにみんなマスクをしていなかった(感染症対策の不十分)
パーテーションのファスナーの開閉音が常にどこかで鳴ってる(対策が必要)防災セットに耳栓あるとよい事を学んだ
- 就寝時も投光器の光が少し明るかった(最小の設定なら仕方ない)
→耳栓やアイマスクをすると、もし障害が発生した場合、耳と目で取れる情報がなくなるので情報伝達に課題ある?
- 全体的に問題なくできました。気になった事は、ダンボールベッドを 2 つ頼みましたが 3 人だったのでベッド 2 つをくっつけてアルミマットをその真ん中に広げて乗せました。中央に寄って寝てしまったのでそれぞれのダンボールベッドの端に負荷がかかってしまったのではと思いました。子どもたちの寝相が悪いのでやはり亀裂が入っていました。床で寝た方がよかったです、、、
- 資材が豊富で不足がなく 恵まれた避難所を体験させてもらった 上靴下履の区別なく利用できるよう 屋外以外の下履エリアにシートを貼り全て上靴エリアとしておくとよかったです
- こんなふうになるんだな(宿泊パーテーションやトイレや食事)のイメージができた。お互いだが、物音が気になる。また、ペット(犬、家族が離れると鳴く)問題もあるのでいざという時に考えておく必要があると再認識した。
- テントやダンボールベッドは思ったより快適だったにも関わらず、びっくりするぐらい眠れませんでした。
ベッドの硬さも感じましたが、枕も重要と思いました。
耳栓はあまり好きではないですが、服のフードもある程度防音できたかを感じています。
- パーテーションがある事でプライバシーが守られ不必要なトラブルも未然に防止できるので良かった。ありがとうございました。
- パーソナルスペースの重要性も理解出来ました。
- ダンボールベッドの片付けはひとりでできました。達成感あり
- 深夜の冷え込みが思ったよりきつく、夜中に着込んだりする音があちこちから聞こえた。
使用しないと思って設営後に毛布を返却したが、朝まで手元に置いておけば良かった。
- 実際は初日のパーティション、ダンボールベッドが無い事を考えるとすぐ使いたい簡易マットは持参すべきだと思いました。快適に過ごせないとストレス溜まりそうだなどいうのも分かりました。

- ここ何日かで、気温が下がって寒い避難訓練となり、パーテーションの内側は、外と比べると、暖かく感じ段ボールベットもエアマット等で、個人で持ち込めば非常に快適に過ごせるものだと思っています。
- ファミリーで来られている方が多く良かった。学生のボランティアの方もおられた事は良かった。
- スタッフがまことに動かれて感謝しております。パーティションは地区ごとの配布は守られず、場所は取り合いになり、それを注意呼び掛けされたのはおひとりだけ。
- 全体説明の際、マイクが反響しすぎてて、殆ど聞き取れませんでした。
- マイクのハウリングがおきて、話している内容が、聞き取れない。
- テントを渡す時は遠い場所の区画から渡して欲しい。手前からだったので、運ぶのが大変だった。
- テントを建てる場所などに列、どっちが入り口にと早めに説明が欲しい。1 家族 2 つ建てる方が横がいきなど、後から組み立て終わってから変わって欲しいなど。
また、立て直しなどが起きた。。
実際なら無理。。
- アナウンスが聞こえにくかった。テント設営の場所は早いもの順ではなく、隙間なく詰めて設置するよう先に呼びかけてほしかった（設営中やベッド組み立て後の移動は大変だった）

<今後の課題>

- パーテーションがあれば人の目が気にならず避難所では必要だと思う。多くの方に組み立て含め、一度練習するべきだと思う。
- 組み立て、収納共に上手くできません。使いやすい物に変えるべきです。